



今月は2月28日から3月1日までの3日間、交流事業に参加するためグアナファト州へ行ってきました。

広島県とグアナファト州は、広島に本社を置く企業であるマツダが進出したことをきっかけとし、2014年から友好提携を結んでいます。そして、現在ではマツダだけでなく、多くの企業がグアナファトへ進出し、互いの文化、経済、スポーツなどの観点から幅広く交流が行われています。

マツダメキシコ工場見学

1日目にサラマンカへ到着した後、現地の学生たちとマツダの工場へ見学に行きました。

初めに、現地で働かれている日本人の方から、マツダメキシコ工場について説明していただきました。

マツダメキシコ工場は、256ヘクタール、東京ディズニーランド約5つ分の面積でとても広大な土地を所有しており、左右に大きく広がっています。工場の建設から開始までおよそ2年かかっているそうです。その中には部品の供給に携わるサプライヤーが5社入っています。

マツダメキシコ工場では、将来的にはメキシコで生産、販売をしていくことを目標にされているそうです。

現状の課題として、販売と協働によるメキシコ市場の成長実現、コスト面や競争力のある製品の生産と供給などがあげられていました。マツダメキシコ工場では、品質の良い製品を安いコストで提供することをモットーにされているそうです。

2016年までに50万台、2020年までに100万台、2023年までに150万台と、多くの車がマツダメキシコ工場で生産、販売されています。マツダメキシコ工場で生産されている自動車は約80%が国外への輸出が占めており、特に北米での市場が多くを占めているそうです。

工場で働かれている方たちは、97%がグアナファト出身の方たちで、現地の方たちを積極的に雇用することで地域貢献にも繋がっています。グアナファト工場では4900の方が働いており、男性が73%、女性が27%と日本に比べて女性が多いそうです。日本の工場では約9割がロボットなどの機械によって生産されていますが、メキシコ工場では7割が人の手によって作られているようです。そのため、教育にも力を入れており、働かれている方々が難しい作業を練習するためのスペースがあったり、年に50人ほど日本へ派遣したりするなど社内環境の充実という点でたくさんの工夫がされているのだと感じました。

マツダは地域との信頼関係をととても大切にされています。私が小学生の時に広島のマツダ工場に社会見学へ行ったときにも、同じことを言われていたのを思い出し、地域とより近い企業であることを再確認しました。



グアナファト大学学生との意見交換会

2日目はグアナファト大学の学生たちと、今後の広島県とグアナファトにおける交流状況について、

話し合いました。彼らは日本語を勉強しており、日本語を勉強しているグアナファトの学生と、スペイン語を勉強している私たちという、2つの立場から国際交流について大切にしていることを考えるととても貴重な時間でした。その中で日本に数カ月住んだことのある学生から、日本に住んでいた時に人との距離感のとりかたがとても難しかったという意見がでました。メキシコ人の方たちはとてもオープンなマインドを持っていて、外国人の私たちでも家族のように受け入れてくれます。しかし、日本ではある程度人と人の距離感が必要で、文化の違いという点で友達を作るのにとっても苦労したそうです。それを聞いて、私たちもオープンに受け入れるという姿勢がとても大切なのだとすることに気が付きました。

私も実際にメキシコに住んでいると、言語の問題だけでなく日常の様々なことに不安を感じることは多々あります。しかし、メキシコ人の方たちはいつも私たちを家族のように受け入れ、サポートしてくれるので何度もメンタルの面で救われていると感じています。

その他にも言語や文化の点で難しいと感じている人が多い印象でした。

今後の交流について進めたいことについて話し合う中で、多くの学生たちが、お互いの国の料理や音楽、スポーツや歴史について興味を持っており、それらを交流の中に取り入れるといいのではないかという意見が出ました。それを踏まえて私たちは、広島で西条で行われている酒祭りを何らかの形で交流に繋げることはできないだろうかと考えました。また、グアナファトの街並みは坂道が多く道幅が狭いので尾道と似ていると思い、お互いの街の景観や食べ物などで広島とグアナファトの交流に繋がるのではないかと感じました。





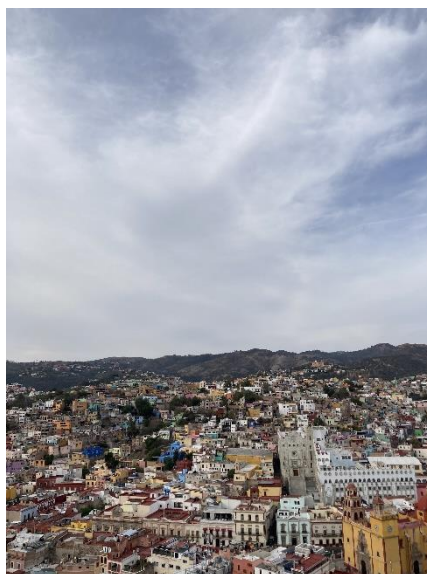
意見交換会をした後、少し日本語のクラスを見学させていただきました。グアナファト大学の学生さんたちが、一生懸命日本語を勉強している姿を見て、私もスペイン語をがんばろうと改めて気持ちが引き締まりました。

グアナファト市内見学

3日目は、一日コーディネーターの土田さん、同じく広島県から派遣されている赤畑さんとグアナファト市内を見学しました。

グアナファトの街並みや歴史について、土田さんに教えていただきながら、市場や地下道などたくさん場所へ行きました。

グアナファトでは昔、鉱山が発見され金銀がたくさん発掘されていたそうです。しかし、それはスペイン人により占領され、その後の独立戦争を引き起こすきっかけにもなりました。独立戦争ではたくさん人の命が奪われ、スペイン人を倒した際の場所などがグアナファトにいくつかありました。



今回のグアナファト州への研修訪問では、とても貴重な経験をすることができました。

特に、現地の学生との交流では同じ年代の学生たちと話し、グアナファトと広島、また日本とメキシコの繋がりを感ずることができました。お互いの文化や歴史について話し合い、その中で良い点や改善すべき点まで話し合うことで、これからの交流での課題や、何が求められているのかを考えることができました。さらに、広島についてもっと知ってもらいたいという思いが強くなり、グアナファトで知り合った学生や出会った人々との交流を大切にしていきたいと思いました。

メキシコ生活も残りあと半年となりましたが、引き続きスペイン語とメキシコの文化について学び、今後に活かせるように努めていきたいと思ひます。